

分野	専門分野		単位数	1	時間数	20
授業科目	精神看護学概論		学年時期	1年次 後期		
担当講師 (実務経験)	専任教員（看護師：臨床実務経験有）					
科目目標	精神医療・看護の歴史や精神保健医療の動向を学び、精神看護の意義、目的、対象、役割・機能について理解する。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	精神保健看護の理念、精神保健看護の役割と機能、精神の健康・こころの健康、精神看護の場			講義	専任教員
2	2	こころとからだのつながり			講義	専任教員
3	2	こころのしくみと人格の発達、精神の発達課題、各ライフサイクルの精神保健			講義	専任教員
4	2	こころの危機とストレス、ストレス・コーピング理論			講義	専任教員
5	2	精神医療・看護の歴史			講義	専任教員
6	2	精神障害と法制度			講義	専任教員
7	2	日本の精神医療の現状、社会の変化とメンタルヘルス、障がいの捉え方、自殺対策			講義	専任教員
8	2	プロセスレコード			講義	専任教員
9	2				講義	専任教員
10	2	終了試験			試験	専任教員
評価方法		終了試験の成績(80点) グループワークへの参加態度、課題の提出（20点） トータル100点満点で評価する。				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院				
参考文献		系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 医学書院 菱沼典子著：看護につなげる形態機能学 メヂカルフレンド社 高橋清美編著：看護コミュニケーション ヘルス出版 長谷川雅美著：自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード 日総研				
備考		精神看護の基本となる人間理解を目的として、こころとからだのつながり、人格の発達過程、人の心理・行動の特性を理解し、こころの健康や健康な生き方とは何かについて考える。また、精神医療に関わる歴史的背景、人権擁護、法律や制度、現代社会の変化とメンタルヘルスについて学んでいく。				

分野	専門分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	精神看護学方法論Ⅰ（精神と健康問題）		学年時期	2年次 前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（精神科医師）					
科目目標	精神障害の特徴と主な原因、診断、治療について理解できる。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	精神障害の症状と診断			講義	精神科医師
2	2	統合失調症			講義	精神科医師
3	2	気分障害 認知症			講義	精神科医師
4	2	神経症性障害			講義	精神科医師
5	2	アルコール依存症・てんかん			講義	精神科医師
6	2	発達障害			講義	精神科医師
7	2	精神科における治療			講義	精神科医師
8	1	終了試験				
評価方法		終了試験の成績で評価する。				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院				
参考文献						
備考						

分野	専門分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	精神看護学方法論Ⅱ（生活障害と看護展開）		学年時期	2年次 後期		
担当講師 (実務経験)	1 非常勤講師：臨床実務経験有					
	2 非常勤講師：臨床実務経験有					
科目目標	精神障害を持つ人及び家族への援助に必要な知識、技術について理解できる。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	入院治療と看護の展開、入院の意味を理解する			講義	1
2	2	治療環境をつくる、安全を守る			講義	1
3	2	緊急事態に対処する			講義	1
4	2	健康の段階における看護、回復を助ける			講義	1
5	2	主な精神科治療と看護、共同意思決定、共同創造（コプロダクション）			講義	1
6	2	抗精神病薬の有害反応、電気けいれん療法の看護			講義	1
7	2	身体合併症、心的外傷を持つ患者への身体のケア			講義	1
8	1	中間試験			試験	1
9	2	生活障害とは、精神障害による生活への影響、身体合併症のある患者の看護			講義	2
10	2	日常生活行動と精神の健康問題			講義	2
11	2	（睡眠・食事・清潔・金銭管理・対人関係）			講義	2
12	2	統合失調症の看護 事例検討			講義	2
13	2	情報収集・アセスメントの視点			講義	2
14	2	看護の視点			講義	2
15	2	災害時のメンタルヘルスと看護、DPAT			講義	2
16	1	終了試験			試験	2
評価方法		中間・終了試験の成績で評価する				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院 初めてのヘンダーソンモデルにもとづく精神科看護過程第3版 医歯薬出版株式会社				
参考文献						
備考						

分野	専門分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	精神看護学方法論Ⅲ (地域で暮らす精神障害を持つ人の看護)		学年時期	2年次 後期		
担当講師 (実務経験)	専任教員（看護師：臨床実務経験有）					
科目目標	精神障害をもちながら地域で暮らすための社会資源やサービス、看護について理解できる。					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	2	地域におけるケアと支援、 精神障害に対応した地域包括ケアシステム		講義	専任教員	
2	2	生活を支えるための社会資源・サービス		GW	専任教員	
3	2					
4	2	地域におけるケアの方法と実際		講義	専任教員	
5	2	学校におけるメンタルヘルスと精神看護 職場におけるメンタルヘルスと精神看護		協同学習	専任教員	
6	2	医療の場におけるメンタルヘルスと看護、リエゾン、 コンサルテーションと連携		講義	専任教員	
7	2	精神障害をもつ人への関わり方と看護		GW	専任教員	
8	1	終了試験		試験	専任教員	
評価方法		終了試験の成績(100点満点)で評価する。				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院 精神疾患をもつ人への関わり方に迷ったら開く本 医学書院				
参考文献						
備考		現在の精神保健・医療・福祉において、入院治療にとどまらず、地域での生活を継続できる支援も実践されています。地域生活を支えるための社会資源やサービス、精神障害をもつ人への関わり方と看護について学びます。3年生の精神看護学実習（就労支援事業所、訪問看護等）にもつながる内容です。				